

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 医療機能再編支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,740 千円 (前年度予算額： 24,171 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	24,171	0	0	0	0	0	24,171	0	0
要求額	22,740	0	0	0	0	0	22,740	0	0
決定額	22,740	0	0	0	0	0	22,740	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成27年の改正医療法に基づき、将来(目標年：2025年)あるべき医療提供体制を、二次医療圏ごとに策定することとされ、当構想を検討する場として、各圏域に地域医療構想等調整会議を設置し、協議を進めているところ。

引き続き、将来の医療ニーズに対応するため、病床規模の適正化(病床削減)を図るとともに、病床機能の適正配分(高度急性期、急性期から不足する回復期への転換、慢性期から在宅医療等への移行)をさらに進める必要がある。

(国が令和7年度中に策定する新たな地域医療構想の策定に係るガイドラインの内容を踏まえて対応を検討していく)。

(2) 事業内容

- ・地域医療構想の実現に向け、以下のとおり、医療機能再編支援事業を実施する。
 1. 経営傾向分析(県内93病院)
 2. 令和6年度までの個別コンサルティング事例の展開
 3. 個別経営コンサルティング
 4. 病院間連携促進支援

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金（国 2 / 3 県 1 / 3）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	118	業務旅費
需用費	89	印刷用紙代、データ提供のための記録媒体代等
役務費	115	郵送料
委託料	22,418	経営傾向分析等
合計	22,740	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県保健医療計画
岐阜県地域医療構想

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 地域医療構想実現に向け、病床機能の分化・連携を促進し、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①一般病床及び療養病床数	18,014	16,557	14,978		14,978	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 4病院が個別経営コンサルティング等を受けた。 <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 4病院が個別経営コンサルティング等を受けた。 <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 5病院が個別経営コンサルティング等を受けた。 <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年（目標年：2026年に延長）までに、地域医療構想の実現による県内の各地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築が必要であり、各医療機関の取組を県が支援する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>当事業により、地域医療構想の実現に各医療機関の取組みを促すきっかけになることが見込まれる。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>事業の実施方法について、地域医療構想アドバイザーの意見を伺い、効率的な事業遂行に努めている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機能の分化・連携を図るため、救急や周産期といった政策医療などを行う病院の役割に配慮しながら、不足する回復期病床をいかに充足していくか、また、療養病床等から県政モニター調査でもニーズの高い在宅医療等にシフトするため、在宅医療・在宅介護体制を充実させることが大きな課題。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組を継続的に実施していく。 (国が令和7年度中に策定する新たな地域医療構想の策定に係るガイドラインの内容を踏まえて対応を検討していく)。</p>

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	